

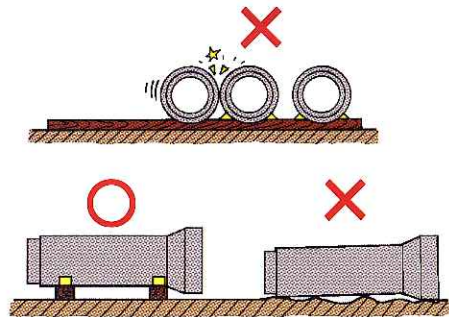
外圧管の施工についてお願い



この度は、ヒューム管をご使用いただき、誠にありがとうございます。
ヒューム管を良好な状態でご使用いただくために、下記の事項について今一度、ご留意のほどをお願い申し上げます。

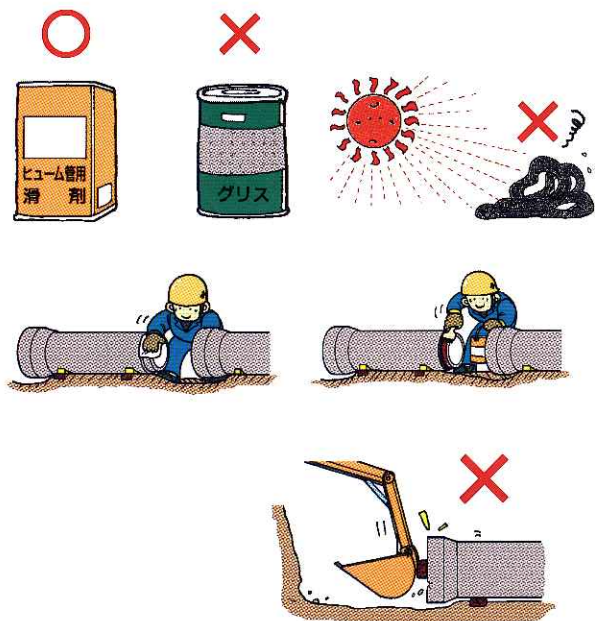
取扱について

- ・ 荷おろしはクレーンなどの機械で丁寧に行う
- ・ 管に急激な衝撃をあたえない
- ・ 平坦な場所に角材等を用いて保管する



接合について

- ・ ゴム輪、滑剤は適切な材料を用いる
 - ・ 接合部の清掃、点検、滑剤塗布を行う
 - ・ 管の引き込みの際は適切な機材にて行う
- ※パワーショベルなどで行うと、管の損傷や管路が動く原因になります。



目地について

※ 目地の開きについては、ゴム輪の反発力による戻りがあるため、許容抜け出し長以下であれば問題はありません。

※ C形管、NC管の継手は、予め目地が開く構造となっており、C形については8mm、NC形については5mmの目地が開きます。
こちらにつきましても、許容抜け出し長以下であれば問題はありません。

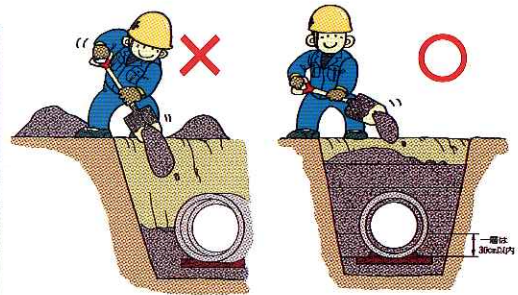
関東ヒューム管協同組合

2004. 09

埋め戻しについて

掘削幅、土被り、支承条件に注意してください

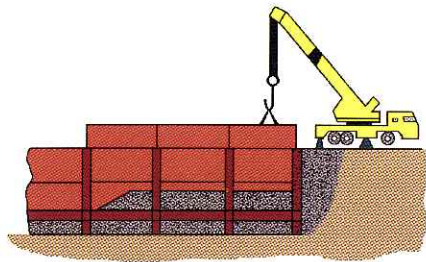
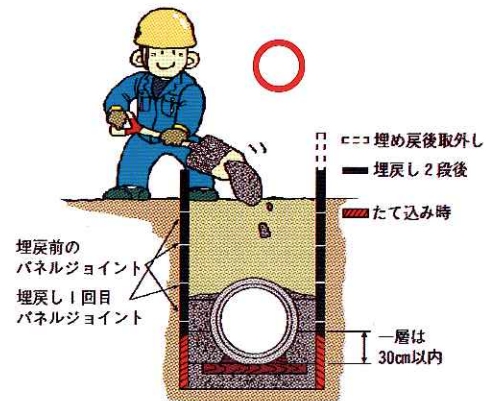
- ・ 良質な砂等を用いて、支承条件を確保する
- ・ 確実な方法で締め固めを行う
- ・ 設計書どおりの施工を行う



簡易土留め工法の場合

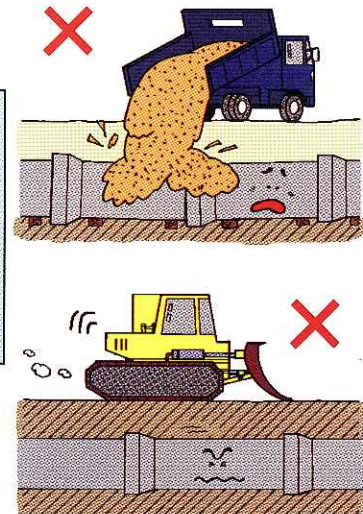
- ・ パネル板を30cm引き抜くごとに締め固めを行う
- ・ 管頂まで一気に引き抜いたりしない

※引き抜き後についても締め固めが不足していると基礎を緩めることとなります。



- ・ ダンプトラックで一気に埋め戻しを行わない
- ・ 埋め戻し後は、建設機械、車両の通行をしないようにする

※管の上に鉄板を敷いても、保護目的として大きな効果は期待できません。



ヒューム管の施工に関して、基本的な注意事項を記載させて頂きました。

お問い合わせ等は、何なりと担当営業、納入会社にお申し付け下さい。

「安全な作業をお願い致します」